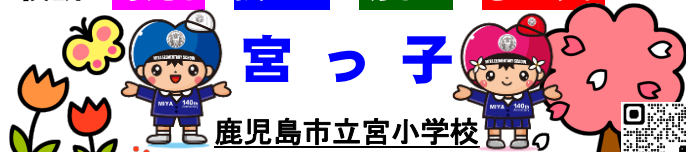


令和7年度宮小学校だより第3号（6月号）

令和7年7月14日

校訓 **考える** **強い** **明るい** **思いやり** の



鹿児島市立宮小学校

※ホームページにも掲載しています。右の二次元コードより→

**「おはようございます。」から**

校長 山里 浩美

あじさいが美しく彩りを添える季節が過ぎ、はや梅雨明けを迎えました。6月25日(水)の水泳学習発表や学級PTA等の御参観・御参加ありがとうございました。全児童が水泳学習の「学びの成果」を十分に発揮できました。

さて、毎朝のあいさつ「おはようございます。」から宮小の子供たちと私のコミュニケーションが始まります。同じ子供であっても、日によって元気な反応だったり、無気力な反応だったりします。

「出がけに何か嫌なことがあったのかな?」、「宿題を忘れたのかな?」、「昨日、友達とけんかしたのかな?」など、いろいろと思いを巡らしますが、まずは、笑顔で心を込めて「おはようございます。」を交わします。そして、子供たちが笑顔になる言葉を探しながら話しかけています。ときには、あえて話しかけないこともあります……。

大切にしていることは、子供の表情や言動に関心を持ち、あるがままの姿を認め、少しの変化を見逃さずに承認・称賛しながら関わっていくこと。そして、そのような関わりを通して、子供が安心して話せる関係を築いていくことです。そのために、話を聞くときは、「どうして、そう思ったの?」、「それは、どうしてなの?」などと、会話が続くような問いかけを行い、「どうしたらいいと思う?」と自己を振り返らせ、自己決定を促していきます。そうすることで、子供の思いや心のうちを理解してあげられるのではないかと考えます。しかし、心に余裕がないと、話を最後まで聞くことができずに、「それは、違うでしょう。」、「〇〇しなさい。」などと否定したり、決めつけたりしてしまい、子供の口も心も閉じてしまった苦い経験もあります。

現代はコミュニケーションがうまく取れない子供が増え、いじめ等の問題に発展しているケースもあります。

本校のキャッチフレーズは「自律・自走する子供」の育成です。まずは、大人の私たちが愛情を感じるコミュニケーションに努めて、子供たち一人一人に適した成長を促していきたいと思いながら子供と向き合う毎日です。



今月の1枚「実物に触れる」



田植え体験で、アイガモとふれあいました。実物に触れ、社会の学びが深まりました。

## 7月 行事予定

- 1日(火) 特別校時, ごみの3R教室⑤(4年)
- 2日(水) 特別校時, 清掃強調週間(~10日), AEA①~④
- 3日(木) カゴメ食育教室⑤(2年), AEA⑤⑥
- 7日(月) 特別校時(~11日)
- 9日(水) AEA①~④, 市SC来校(午後), 代表委員会⑥
- 10日(木) 鹿児島ジュニア検定(5, 6年), 移動図書, AEA⑤⑥
- 11日(金) 食育学級活動⑤⑥(4年生)
- 12日(土) 土曜授業
- 14日(月) 特別校時(~17日)
- 18日(金) 終業式, 大掃除, 水難防止強調期間(~8/31)
- 19日(土) 子ども食堂「宮っ子」
- 22日(火) 保護者との教育相談(~31日)
- 24日(木) 市水泳記録会6年生大会
- 25日(金) 市水泳記録会5年生大会
- 27日(日) 桜通り清掃活動(保体部, 地域部) おやじの会PTA共催親子ふれあいレク (9:30~ 国分下井海岸)

## 8月 行事予定

- 1日(金) 県SC水戸先生来校 (13:30~ 2階教育相談室)
- 3日(日) 「親子ふれあいレク」予備日
- 6日(水) 通学路合同点検
- 13日(水) 学校閉庁日
- 14日(木) 学校閉庁日
- 15日(金) 学校閉庁日
- 16日(土) 子ども食堂「宮っ子」
- 21日(木) 出校日(午前中) 宮校区みんな笑顔であいさつ運動
- 27日(水) 吉田地区家庭教育研修会 (14:00~ 吉田公民館)
- 28日(木) 移動図書, PTA役員会



## みなさんが引き出す瞳の輝き～保護者読み聞かせ～

例年、6月の校内読書旬間に合わせて行っている保護者読み聞かせ(朝の活動)は、子供たちが楽しみにしている読書イベントの一つです。本年度も、6月1日(日)と6月14日(土)に実施しました。真剣なまなざしで聞き入る子供や、お母さん、お父さんの読み聞かせに、嬉しそうな表情や誇らしそうな表情を浮かべる子供。保護者のみなさまが引き出した瞳の輝きを見るにつけ、保護者のみなさまのご協力に深く感謝することでした。第3回は、1月29日(木)の朝の活動時です。次回も子供たちの目の輝きと本に親しもうとする意欲を引き出してくださいませよう、よろしくお願いいたします。



## 大震災に備えた自助・共助について学びました～合同防災教室～

南海トラフ大地震が30年以内に発生する確率は約80%と言われています。いつ発生するかは誰にも分かりませんが、次のことは、はっきりとしています。

- いつ起こってもいいように、日頃から各家庭の「備え」を進めておくこと(自助)
- 大震災が起こったときは、宮小学校が避難所となり、助け合いながら共同生活を行うこと(共助)
- 宮校区の大部分が土砂災害の警戒区域・特別警戒区域に指定されていること

では、各家庭で進めるべき「自助」や大震災発生時の「共助」とは、具体的にどんなことでしょうか。そのことを学校・家庭・校区で学ぶため、6月1日(日)に「学校・家庭・校区合同防災教室」を実施しました。

令和5年度から安心安全ネットワーク会議で議論し、地域の各機関と連携しながら企画・準備を進めてきた合同防災教室は、市の危機管理課や吉田分遣隊、校区コミュニティ協議会女性部、宮消防分団のみなさまのご協力をいただきながら、大変充実した内容となりました。



### 【学校・家庭・校区合同防災教室の内容】

- 1 講話等
  - (1) 災害に備えよう(危機管理課)
    - 家庭に揃えておくべき防災グッズ
    - 宮小学校の避難所備蓄物資
  - (2) 炊き出し訓練(校区女性部)
    - 炊き出しの手順説明
    - 炊き出し用袋への米、だし汁封入
- 2 展示・体験ブース
  - (1) 家庭に備えるべき防災グッズの展示
  - (2) 避難所の備蓄物資展示  
(以上、市危機管理課の展示ブース)
  - (3) 炊き出し訓練、非常食の取り扱い方  
(校区女性部の体験ブース)
  - (4) 初期消火、傷病者搬出、心肺蘇生法  
(吉田分遣隊、宮消防分団合同ブース)



今日、非常食の作り方、食べ方体験をしました。袋に白米と出汁を入れて、輪ゴムでぐるぐる巻きにして結んだ後、ぐつぐつなっている鍋にポチャンと入れました。40分後、できたものを食べました。持った熱さは焼き芋みたいで、味は出汁が効いておいしかったです。

2年 ○○○○さん



校庭での分遣隊の方々のブースが個人的にはすごく印象に残りました。今までに消防訓練などは受けてきましたが、実際に消火器を使ったことはなく、今回初めて子供と一緒に使わせていただきました。心臓マッサージも実際に出来て良かったです。隊員の方が親切に教えてください、勉強になりました。本当にありがとうございました。



防災グッズ体験ブースをもっと体験させたいと思いました。例えば助けを呼ぶホイッスルは浸水対応の物だと思い切り吹かなければ鳴らない。やみくもに吹いても体力を使う。被災時、効果的に使う方法を体験教室だけでなく定期的にリアルに訓練させてほしいと思いました。



## 地域のみなさまの見守りに感謝

6月1日(日)の合同防災教室の冒頭で、子供たちの登下校時の安全を見守ってくださっている校区の方々を紹介しました。

【校区コミュニティ協議会安心安全部長兼青色パトロール隊】

〇〇〇〇さん

【児童通学保護員】

〇〇〇〇さん

【校区青色パトロール隊】

〇〇〇〇さん 〇〇〇〇さん

〇〇〇〇さん 〇〇〇〇さん

〇〇〇〇さん 〇〇〇〇さん

〇〇〇〇さん



この他、毎月1日には、宮校区「みんな笑顔であいさつ運動」も展開しています。お互いにあいさつを交わす雰囲気定着している地域では、不審者事案が起こりにくいというデータがあるそうです。これからも子供たちの安全を地域で守るため、「おはようございます」、「こんにちは」をはじめ、子供たちの安全を見守ってくださる方々への「いつもありがとうございます」などの感謝のあいさつも交わしたいですね。



## 心を見つめ 思いを巡らし 向き合う～ニコニコ月間の取組～

5月25日(日)から6月25日(水)は、いじめ防止啓発月間(ニコニコ月間)でした。各学級で標語作りやいじめに関する道徳の授業などを行い、いじめを防ぐことができる学級にするにはどうすればよいかを考え合いました。いじめは、自分が加害者にならないように、常に心を整えることで防止に向けた一歩を踏み出すことができます。また、学級の友達の心を見つめ(大丈夫かな) 思いを巡らし(どうしてかな) 向き合う(何かできることはないかな)ことで、更にもう一歩を踏み出すことができます。ここでは、宮っ子が作った標語から、6年生の〇〇〇〇さんの作品を紹介します。「ありがとう」は、自分の心も友達の心も元気になる素晴らしい言葉だな。まるで魔法だなと共感できます。「いじめをしない」、「見て見ぬふりをしない」決意をもち続けると同時に、お互いの心を元気付けるふわふわ言葉を使い続けることも、いじめ防止につながりそうだと感じる素敵な標語です。

### 【児童の標語より】

「ありがとう」  
みんなが元気に なる魔法

6年 〇〇〇〇



## 貴重な農業体験の場となりました～田植え体験学習～

6月14日(土)に5、6年生が田植えを行いました。ぬかるむ水田の感触を楽しみながら、ぴんと張ったひもを目印に、3～5本を一束にした苗を植えていきました。経験がほとんどない子供たちが植えた苗は、差す深さが浅すぎて水面に浮いてきたり、でこぼこに曲がったりしていました。しかし、手際も列を整える技能も次第に上達。力を合わせて終わることができました。また、〇〇さんのご厚意で、アイガモ農法に関するミニ講話とアイガモとふれあう体験もできました。社会の学習を体験的に振り返り、深めることができました。

なお、本年度は、田植えと稲刈りの活動だけでなく、その間に手入れの活動も位置付けることで、更なる充実を図りたいと考えています。また、収穫後は、もち米を収穫祭のもちつきに使用し、うるち米を、子ども食堂の食材として寄贈する予定です。活動の目的を明確にしながら、深い学びができるよう、子供たちに働き掛けていきます。

最後になりますが、本年度も、子供たちの体験学習を充実させるため、田んぼの準備や管理について、校区のみなさまに多大な御協力と御指導をいただいています。本当にありがとうございます。



【田植え体験の様子(5、6年生)】



## 気軽に使える‘学校の相談室’のはなし～県SC講話～

6月25日(水)、第2回家庭教育学級を兼ねて県スクールカウンセラーの水戸由紀子先生による保護者向け講話が開催されました。今回のテーマは「悩みがなくてもOK！気軽に使える“学校の相談室”のはなし」。SCの役割やほめるコツについて分かりやすく教えていただきました。具体的には……。

### 【SCとして大事にしていること】

- 子供と保護者の「気持ちの伴走者」でいること
  - ・ 困ったときにはではなく困る前に
  - ・ 「こんなこと相談していいの？」ほど早めに相談
- 解決より「一緒に考える」を大切にすること
- 守秘義務
  - 学校と共有する内容は、必ず事前に相談します。

### 【ほめるときのコツ】

- 自信は勝手に湧くのではなく、認められて育ちます。
- できたことを「具体的に」、「すぐに・さりげなく」
  - ・ 行動を言葉で「見える化」する
  - ・ 「感謝する」ほめ方は特に効果的
- 子供の自己否定は「認めてほしい」のサイン  
「どうせぼくなんかできないし」（ほめるチャンス）
  - すぐに「できたこと」をほめる一言を……。



【県SC水戸先生による講話の様子】

### SCの来校予定

#### 【県SC水戸先生】

8月 1日(金) 14:30～16:30

#### 【市SC東先生】

9月17日(水) 13:15～15:00  
 11月 5日(水) 13:15～15:00  
 11月26日(水) 13:15～15:00  
 12月17日(水) 13:15～15:00  
 1月21日(水) 13:15～15:00  
 2月 4日(水) 13:15～15:00  
 3月11日(水) 9:15～11:00



考えさせられた時間でした。そして、気軽に話せる場所があることを知って少し安心しました。



ほめ方は参考になりましたが、叱り方に悩んでいます。今度ぜひ相談させていただきたいと思いました。

## 「連携・協働」で学校教育の更なる充実へ～第2回学校運営協議会～

6月30日(月)に、第2回学校運営協議会を行いました。授業参観や説明、協議を通して、宮小学校における教育実践の今後の連携・協働の在り方を協議しました。

### 【授業参観】

「子供が主語の学びが展開されているか」を視点として、参観していただきました。委員の方々からは、「どの先生も同じ方向性で授業をしているところがよい」、「子供たちが協力し、助け合いながら進めているところがよい（学び合う雰囲気がよい）」などという感想をいただきました。



【子供が主語の学びの様子】

### 【宮小を語る会～信頼される学校づくりのための委員会～】

不祥事防止や業務改善に向けた学校の取組について説明し、協議しました。委員の方々からは「教育のデジタル化が進んでいるようだが、必要な情報や正しい情報を精選する力や対面のコミュニケーション能力の育成は図られているか」、「不祥事が起こったときの対応マニュアルはあるのか。また、起こさないために、職員室の雰囲気をよりよくしていく取組が大切」などの意見が出されました。

### 【学校経営の進捗状況の説明及び教育課題解決の方策に関する協議について】

「非認知能力育成プロジェクト」、「いじめ防止基本方針」、「運動会の実施計画（方針）」について説明後、協議を行いました。委員の方々からは次のような意見が出されました。

- いじめの捉え方はよく分かった。何かがあったときに話すことができる学校づくりが必要ではないか。これも「開かれた学校」ではないか（いじめ防止基本方針について）。
- 熱中症が心配される時期に、午後までの実施計画は理解が得られるか（運動会の方針について）。
  - 昨年同様、「午前中開催」を前提に内容とプログラムを検討する。
- 校区種目を入れることには賛成。気軽に参加できるものがよいのではないか。今ある種目に保護者や校区が参加する方法もあるのではないか（運動会の方針について）。